

1 研究主題

○地域教材の教材化を図る

2 研究の概要

- (1) 期 日 平成 26 年 8 月 21 日 (木)
- (2) 会 場 ①見附市立今町小学校
②道の駅 パティオにいがた (見附市今町)
- (3) 研修日程 ①見附市の「防災 (水害)」についての取組
講師 見附市役所企画調整課 吉原雅之 様
②道の駅 パティオ新潟内「防災アーカイブ」見学

3 研究の実際

- (1) 見附市は 10 年前の 7.13 水害で大きな被害を受けた。7.13 水害後、見附市がどのような防災対策を行ってきたのか、実際に見附市の防災対策のトップである、企画調整課・吉原様よりお聞きした。また、様々な防災対策の結果、平成 23 年 7 月の新潟・福島水害ではほとんど被害を受けなかったことなど、実際の数値を元にご講義していただいた。
- (2) 道の駅パティオ新潟は、7.13 水害後の刈谷田川の河川改修によってできた「旧河道」に立地している。その、道の駅パティオ新潟内にある「防災アーカイブ」を見学した。7.13 水害の記録と、その後の見附市の防災についての取組をパネルや当時のニュース映像等で分かりやすく展示してある。また、「遊水地」の働きについて模型を使って解説してある。

4 成果と課題

市内を流れる刈谷田川は、古くから「暴れ川」として有名であり、見附市の人々は、刈谷田川の水害と戦い、刈谷田川の恵みと共に生きてきたという歴史がある。4 年生社会科の開発単元も、刈谷田川の河川改修を扱っている。

また、来年度から採用される新しい教科書には、「防災」の記述がある。水害により大きな被害を受けた見附市に暮らす子どもたちが、「防災」、特に「水害」について学ぶ意義は大きい。

今回の研修は、水害の実際を知り、水害を防ぐために様々な人々が様々な取組をしていることを知り、授業の教材化を図る上で、有意義な研修となった。



《見附市役所企画調整課・吉原様の講義》



《遊水地の働きについての模型》